

# みなとぴあボランティアレター 第49号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ/2023.3

令和4年度最後のレターです。冬から春にかけても多くのイベントを開催できました！

## 1/21 第2回ステップアップ研修

1月21日（土）に2回目のステップアップ研修を行い、19名の方が参加しました。今回は、山田祐紀学芸員が講師となり、割地制度について紹介しました。割地制度について西蒲区の事例をもとに紹介し、参加者からは「今まであまり光のあたらなかった「割地慣行」のしくみや土地の人々の思いがわかった」「割地慣行の中での疑問だった点が権利と階層で理解できて勉強になった」などの声がありました。

常設展示室をガイドする際の低湿地に関する新しい知識を培うことのできた研修でした。



## 2/18 新規ボランティア研修説明会

2月18日（土）に新規ボランティア研修説明会を開催しました。今年度の研修参加者は16名（登録は14名）と多く、年代も幅広いのが特徴です。また新潟シティガイドに所属している方や文化系施設のガイド経験者が多いことも印象的でした。今後は新しい仲間が加わり、ボランティア活動の活性化が期待されます。

さらに、来年度からは高校生ボランティアの活動もスタートします。説明会には16名が参加し、今後は体験プログラムのサポートや企画などをする予定です。これを機に幅広い世代で交流できることを期待しています。全員でみなとぴあのボランティア活動を盛り上げていきましょう！



説明会に参加された  
一般ボランティア(左)と高校生ボランティア(右)のみなさま

## 2/19 近世新潟町展解説研修会

2月18日（土）に開幕した「近世新潟町」展。この展示では、近世の新潟町について、新潟町跡から発掘された江戸時代の品物や建物跡や絵図史料などをもとに紹介していました。今回、毎週土日祝日に行われる展示解説会をボランティアが行いました。

これに伴い、翌19日（日）に解説の研修会を開催しました。企画展示の解説をボランティアがするのは今回が初めてとなります。研修会には20名の方にご参加いただき、展示担当である小林副館長から展示内容の説明を受けました。その後、各自企画展示室で自主練習をし、本番を迎えました。

本番では、各回約10名程度の来館者を前に堂々と解説をし、解説後も来館者からの質問にしっかり答えていました。解説をした方からは「今回の解説は常設展示室の内容を発展させるかたちで解説し、小林副館長の意図をしっかり伝えられるように意識してやりました」といった声を聞くことができました。

この経験を経て、常設展示室の展示内容をさらに深めることができたのではと思います。



## 3/4 体験プログラム「わらのミニほうきづくり」

3月25日（土）、新体験プログラム「わらのミニほうきづくり」を行いました。このプログラムは、ボランティア鎌田誠司さんが企画し開催したものです。わらや麻紐をつかってかわいいミニほうきをつくりました。

3月初旬から有志で準備を始めました。まずは千歯を使って稲を脱穀しました。はじめて経験する方もおり、「改めて昔の稲作の苦労を感じた」という声も。その後、ミニほうきの大きさにワラの長さを整えていきました。

後日、わらのミニほうきづくりの練習会を実施しました。実際にミニほうきを制作し、麻紐の巻き方などを講師である鎌田さんから教わりました。四苦八苦しながらもそれぞれしっかりミニほうきを完成させていました。

本番では10名の方にご参加いただきました。ボランティアのみなさんは練習会の経験を活かして、参加者たちに丁寧に作り方を教えていました。参加者たちもかわいらしいミニほうきをつくることができ、満足そうでした。申し込みが多く、今回参加できなかった方もいたため、わらが手に入る秋にもう一度実施できたらと考えています。



準備会の様子



勉強会の様子、ミニほうき完成！



当日の様子

# みなとびあボランティア体験記

---

今回は、2022 年度新規ボランティアとしてご活躍いただいているみなさまに 1 年間活動してみでの感想を執筆いただきました。



## 松田守弘さん

2022 年 5 月よりボランティアの仲間入りをさせていただきました松田です。歳とともに「歴史」に興味を持ってきたこともあり、この「みなとびあ」での活動を楽しみながら、あっという間に間もなく一年を迎えようとしています。

ベテランの方から同年代の方々まで皆親切にいただき、和気あいあいとコミュニケーションをとりながら趣味と勉強とボランティアを楽しんでおります。また、企画展示関連の製作物なども皆で力を合わせて張り切って作業をするのもとても有意義です。

ガイド説明はおりしもコロナウイルスの関係もあり、予約の小学生向けがほとんどです。当初は多少緊張しながらの説明でしたが、現在は結構慣れてきました。新年度は一般の方々への説明もこなしたいものだと考えております。

このボランティアの良いところは、あくまで自由で強制が一切ないところです。来年度は常設と敷地の両ガイドともこなせるようにしたいと思っております。

---

## 塚田政春さん

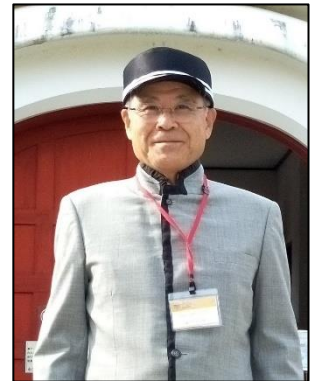
2022 年 4 月 30 日新規ボランティア研修会が 2 か月遅れで開催されました。研修の説明会では、みなとびあは 2024 年に 20 周年を迎えるとのこと。素晴らしい節目を経験できるタイミングで参加できたと、感ずるものがありました。

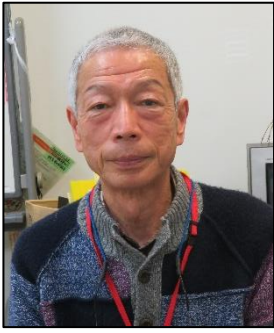
脳みそに汗をかかなくなっから物忘れ、物覚えの衰えに何とかしなければ…と、人と交流し、歴史を伝えていくガイドに取り組んでみようと思参加しました。元々中世から近代史に興味があり、かつて小林副館長や伊東前館長の講座を楽しく聴講させて頂き、更に当時の生活、背景を深く知りたいという思いもありました。

まずは敷地と常設ガイドの見極めに合格することを目標とし、敷地は 6 月に、常設は 12 月に合格することができました。イベントにも積極的に参加し、体験プログラムはじめ各講座、施設探訪、塔屋見学、税関 150 周年イベント、企画展示物の共同制作などできる範囲で参加してきました。1 年間で顔見知りになれたボランティア仲間も多く、先輩、同期の皆さんから得られた知識も大きな収穫になっています。

常設・敷地ガイドや体験の広場では、見学者の皆さんは新潟の歴史・むかしの暮らしに対する関心はもちろん、知識欲、吸収欲がすごく、まずは正確な歴史を覚えることと、子どもさん、ご年配の皆さんと一緒に楽しんで、気持ちよく帰って頂けるような説明に心がけています。

学芸員の皆さん、職員の皆さんから温かく接して頂いていることに感謝し、更には見学して下さる方への感謝も忘れず、長く活動に取り組んでいきたいと思っております。これからも宜しくお願いたします。





## 村川宏さん

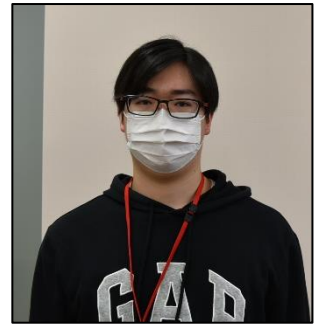
古文書の解読から新潟市の歴史に興味を広がり、みなとぴあの常設のボランティアガイドに加えてもらいました。私にとっての難関は小学3年生のガイドでした。大人もやっとなのに小学生なんてとんでもない！と敬遠していたのですが、来訪学校の情報を集め、それをネタに小学生と会話する方法を見つけてなんとかやれるようになりました。

なんととっても楽しかったのは企画展の小道具づくりでした。秋の「むかしのくらし展」にはなんか屋の屋台を、冬の「収蔵品展（むかしばなし展）」では外便所をみなさんとつくりました。多いときは10名ほどでああでもないこうでもない相談しながらのモノづくりは最高に楽しく貴重な経験でした。

このおかげでボランティア諸氏との距離も縮まり、今ではベテランのような顔をして楽しく過ごさせていただいています。

## 西澤隼生さん

みなとぴあのボランティアに参加したのは大学の教授に紹介されたことでした。私は普段大学で日本史を学んでおり学芸員資格の講座も履修しているため博物館にもよく行っていました。しかし、博物館に来館者としてただ行くだけではなく、講義で学んだことをもとに実際の博物館のより深い部分を見て学びを深めたいと思い、このボランティアに参加してみようと思いました。



1年間このボランティアを経験して多くのことを学びました。特に博物館におけるボランティア制度の整備や研修の重要性などは身をもって学びました。それ以外にも自分の一对多の説明力の足りなさなど実際に活動していく中で将来に向けて不足しているスキルにも気づきました。

また、私は県外出身であるためボランティア活動を始めるまで新潟の歴史についての知識は学校で勉強したこととみなとぴあの常設展の内容くらいしかなく、港町として栄えてきたというイメージしかありませんでしたが、活動を通して徐々に詳しくなっていく中で他の港町との違いから非常に面白い場所だと思い、どんどん関心が湧いてきています。このボランティアを始めてから様々な学びを得られた上に大学の講義もより楽しめる内容が増え、本当にやってよかったなと思っています。今後もよろしくお願いします。

### 【編集後記】

今回は2022年度最後のレターでした。去年と変わらずコロナ対策による活動の制限もありましたが、それでも皆さんのご協力により様々な活動ができたのではと思っています。特に今年からボランティアとして登録した方々の活躍が目覚ましく、今回掲載した体験記からも楽しく活動していただいていることがうかがえます。4月からは徐々にコロナ対策が緩和され、例年通りの活動ができるかも…と期待しています。ボランティアのみなさんには春アンケートなどで多くのアイデアを出していただき、一緒に活動を盛り上げていただければと思います。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。（鈴木）

2022.8月現在

みなとぴあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。

「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。

